



不当労働行為根絶に向けて組合員が決起 損害賠償請求訴訟を起こす

本日12月26日、組合差別・脱退パワハラを行ったJR東日本会社を相手取り、東京地本の組合員が東京地裁に損害賠償請求訴訟を提訴しました。

被害を受けた組合員は「**JR東日本の中に蔓延している組合差別や脱退パワハラを根絶し、就労環境の改善を通して、健全なJR東日本を目指す**」という決意で個人訴訟に起ち上がりました。

あったことはなかったことには出来ません！

東京地本は個人訴訟に起ち上がった組合員の行動を不退転の決意で全面的に支持します。

そして、個人訴訟団を支援・連帯し、不当労働行為を根絶するたたかいを全組合員でつくりだしていくことを要請します！

バス棚倉・個人訴訟団と連帯し、組織の総力を挙げて起ち上がろう！